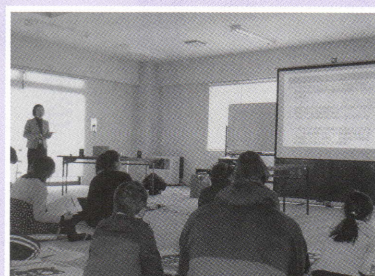
食品と放射能に関する説明会を開催!!

食品と放射能に関する説明会が3月2日、保健センターで行われました。放射線医学研究所専門業務員の吉本泰彦先生が「放射線と健康リスク」について、消費者庁政策調査員の山中裕子先生が「食品中の放射性物質の基準値」について講演を行いました。また、放射能簡易分析装置による測定方法、測定結果の説明も行われ、参加された皆さんは熱心に耳を傾けていました。

講演のポイント

①市場に流通していない食品は、放射性セシウム濃度が高い可能性があるので、検査を受けてから食べる。（自家栽培の野菜、野生のキノコ、山菜、猪や熊の肉）

②がんで死亡する原因は、低線量被ばくによるものよりも、食事や喫煙によるものの割合がとても高いので、生活習慣を見直す。

甲状腺検査に関する説明会を開催!!

甲状腺検査に関する説明会が3月9日、保健センターで行われました。公立大学法人福島県立医科大学放射線健康管理講座准教授の緑川早苗先生が、「甲状腺に関する基礎知識と甲状腺検査の概要」について講演を行いました。

参加された皆さんは、「甲状腺検査の結果が届いて心配していたが、わかりやすい説明を聞いてとても安心した」と話されていました。

ポイント

①今回の検査が基礎データとなるので、今後長期的（数十年）に継続して検査することが大事である。

②甲状腺には液状の嚢胞（のうほう）ができやすい。嚢胞はできたりしぼんだりを繰り返すので、嚢胞の数や大きさは特に心配する必要がない。

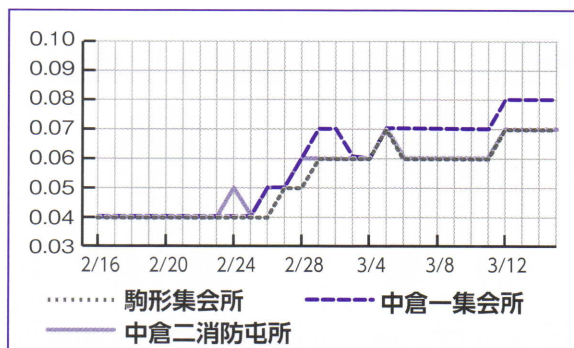
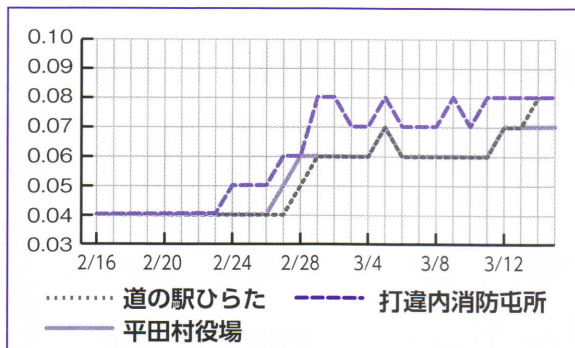
③結節（しこり）はほとんどが良性であるが中には悪性もあるので、経過を見ることが重要である。特に、結節は長い年月をかけゆっくり大きくなるため、検査を頻繁に実施する必要がなく、2年に1回で十分である。

【環境放射能測定値】

モニタリングポスト（村内6か所）の環境放射能測定値をお知らせします。

※モニタリングポスト・リアルタイム線量計（村内24か所）の最新測定結果は、原子力規制委員会のホームページで随時確認できます。

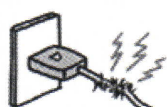
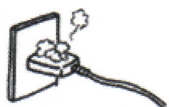
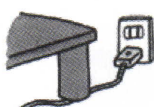
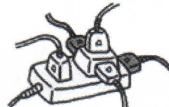
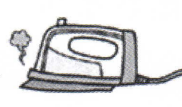
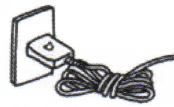
モニタリングポスト（村内6か所）による環境放射能測定結果

※午前8時の数値をグラフ化したものです。　（単位：μSV（マイクロシーベルト）／時）

消防署からのお知らせ

電気による火災を防ごう!!

電気火災を防ぐポイント

コンセント・プラグ・コード

- 差し込みプラグを抜く際は、コード部分を持って引っ張らないで、プラグ本体を持つようにしましょう。
- 差し込みプラグは、コンセントに緩みがないか点検し、ほこりを溜めないようにしましょう。
- コードが家具などの下敷きになったり、押しつけなどにより傷つかないように注意しましょう。
- コードを束ねたり、ねじれたままの状態で使用しないようにしましょう。
- ビニールコードを柱などにステップル止めするのはやめましょう。
- コンセントやコードには使用できる電気量に制限がありますので、コンセントに表示されている使用できる電気量を確認して使用しましょう。
- 芯線（コードなどの中心部にある銅線）同士をねじり合わせて、直接つなげて使用することは危険です。コードとコードをつなぐ場合は、接続器を使用しましょう。
- テーブルタップは許容電気量を超えると発熱し出火する危険があるので、タコ足配線はやめましょう。

いたんだまま使用しない

プラグにほこりをためない

重いものをのせない

タコ足配線をしない

消してないよ！

コードをたばねない

白熱電灯・蛍光灯

- 物置きやクローゼット内の白熱電球の近くに、衣類や寝具を置かないようにしましょう。
- クリップ式の白熱電球は、傾きや緩みでずれていないか点検しましょう。
- 蛍光灯の安定器は、定期的に点検や交換を行いましょう。
- 照明器具に衣類やタオルなどの物をのせたり、覆いかぶせないようにしましょう。
- 照明器具を使用した後は、スイッチを必ず切り、安全を確認しましょう。

電気製品全般

- 使用する前に、電気製品の取扱説明書を良く読みましょう。
- 使用していない電気製品の差し込みプラグは、コンセントから抜いておきましょう。
- 電熱器等の電気製品の周囲には、燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- 長年、使用していなかった電気製品は、使用する前に専門の業者に点検を依頼して安全を確認してから使いましょう。
- 長年使用している電気製品は、異状の有無を点検しましょう。

公立小野町地方綜合病院からのお知らせ

内視鏡システム（胃カメラ）についてお知らせします。

副院長
魚谷（うおたに） 英之（ひでゆき） 医師

当院では、1月に最新の内視鏡システム（胃カメラ）を導入しました。その仕組みとしては、スコープの先端にあるCCDカメラで胃を内側から観察し、その信号を受信してテレビモニターで観察します。最新のハイビジョンになり、食道や胃の上皮（表面細胞）にある細い血管を詳しく観察することができるようになりました。この血管の乱れを観察することで、ピロリ菌感染や早期胃がん状態を見抜くことができます。

これからの検診は、ただ病変を見つけるだけでなく、その早期に起こる変化を観察し、いち早く対応していくことが重要になっていくと考えています。

■内視鏡は予約制となります。
内視鏡及び魚谷英之医師の診療日、受付時間については当院までお問い合わせください。
公立小野町地方綜合病院総務課　☎0247-72-3181